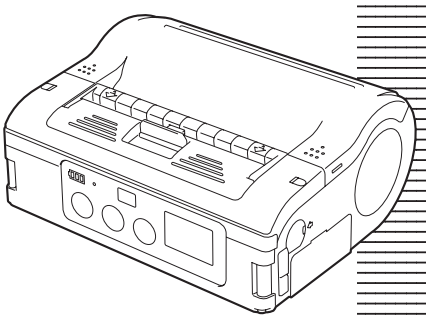
DCS & Labeling Worldwide

バーコードプリンタ ラパン

lapin PT408e/PT412e

取扱説明書



はじめに

このたびは、弊社バーコードプリンタ ラパンをお買い求めいただきまして、ありがとうございました。
本書は、はじめてラパンをお使いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的として作成されております。
ぜひ、本書をよくお読みいただき、ラパンの機能を十分に使いこなしてください。

ご注意

1　本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2　本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
3　本書の内容については、万全を期して作成致しましたが、万一御不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店またはディーラーへご連絡ください。

Bluetooth 仕様または無線 LAN 仕様をお買い上げのお客様へ

電波に関するご注意

本製品は、電波法に基づく技術基準の適合認証を受けています。従って本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。
以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
・本製品を分解／改造すること
・本製品に貼ってある証明ラベル（シリアルシール）をはがすこと
次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。
電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線ＬＡＮ機器の近辺。

Bluetooth™ “Bluetooth” は、米国 Bluetooth SIG の商標です。
弊社は同団体とのライセンス契約に基づき使用しています。

無線 LAN インタフェースをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

第２版 2009 年６月　Q01753001
© 2009 株式会社サトー

目次

準備

1. 安全上のご注意 …… 4
絵表示について …… 4
使用上のご注意 …… 8
2. 箱から出しましょう …… 9
3. 各部の名称 …… 10
操作部の名称と機能 …… 12
4. 動かすまえに …… 13
バッテリパックの充電 …… 13
バッテリパックの装着と取り出しのしかた …… 16
AC アダプタの使用 …… 17
用紙のセット …… 18
●連続発行モード（ラベル紙、ジャーナル紙）…… 18
●連続発行モード（ファンフォールド紙）…… 20
●ハクリ発行モード …… 22
●ハクリ発行モードから連続発行モードに切り替える場合 …… 24

操作

5. 電源を入れてみましょう …… 25
6. テスト印字してみましょう …… 26
7. RS-232C で使用するとき …… 27
8. USB で使用するとき …… 28
9. 赤外線通信で使用するとき …… 29
10. Bluetooth 仕様または無線 LAN 仕様で使用するとき …… 30
11. 発行してみましょう …… 31

困ったときは

12. あれ？どうしたのかな …… 32

お手入れ

13. 毎日のお手入れ …… 36

参考

14. 参　考 …… 38
標準添付品 …… 38
オプション …… 39
動作モードについて …… 44
ディップスイッチ …… 52
基本仕様 …… 54
修理ご依頼時のお願い …… 57
アフターフォローについて …… 57

1. 安全上のご注意

本書は、プリンタのご使用時における安全について記載しております。プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠ 警告

水などの入った容器を置かない

プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、販売店、ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

プリンタの開口部（ケーブルの出口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、販売店、ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

落としたり、破損したときは

プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、販売店、ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

異常な状態で使用しない

万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、販売店、ディーラーまたはサービスセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

分解しないでください

プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはサービスセンターにご依頼ください。

バッテリパックについて

- バッテリパックを分解しないでください。バッテリパックに直接ハンダ付けを行うような改造もしないでください。
- バッテリパックを加熱したり、火の中に投入しないでください。また、ショートのおそれのあることはしないでください。
- バッテリパックへの充電はプリンタ本体または指定された充電器で行ってください。

⚠ 警告

ACアダプタ・バッテリチャージャーについて(オプション)

・指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

・指定されたACアダプタ以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

・バッテリチャージャーは、指定以外のバッテリパックを充電しないでください。バッテリの破裂、液漏れや火災・感電の原因になります。

・コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

・コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)販売店、ディーラーまたはサービスセンターにご連絡してください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

・コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

湿度が高い場所に置かない

プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電・故障の原因となります。

電源

・濡れた手で電源スイッチの操作やバッテリパックの交換、ACアダプタやバッテリチャージャーの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

・本プリンタに付属のACアダプタセットは本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

サーマルヘッド・ステッピングモータ

・印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後のラベルの交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。

・サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。ラベルの交換、清掃は、ケガをしないように注意して行ってください。

・お客様によるサーマルヘッドの交換は、行わないでください。ケガ、火傷および感電のおそれがあります。

簡易カッタ

刃物の構造をしています。手を切らぬように、注意してください。

バッテリパックの交換

・指定以外のバッテリパックを使用しないでください。

・交換時は、装填方向に注意し、正しく入れてください。間違いますとケガや周囲を破壊する原因となる場合があります。

・小型充電式電池（リチウムイオン電池）について
使用済みのバッテリパックは、希少資源の有効利用のために、接点にテープでシールする等の絶縁処理を行ってから、処分方法を当社の営業またはサービス員へご相談ください。
また、乾電池などの他の電池とは混ぜないでください。

長期間ご使用にならないとき

プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のためバッテリパックを外し、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

お手入れ・清掃のとき

プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のためバッテリパックやACアダプタをプリンタから外してから行ってください。

使用上のご注意

暑いところや寒いところに置かないでください

本プリンタの使用温度範囲は－ 15 ～ 50℃（無線 LAN 仕様の場合 0 ～ 50℃）の結露のない状態です。範囲外の場所や、湿度の高いところなどには置かないでください。また使用するラベルによっては、温度の低いところで印字されないことがありますので注意してください。

落としたり衝撃を与えたりしないでください

通常の持ち運びにかかる程度の振動は考慮していますが、極端な振動や、落下による衝撃は与えないよう注意してください。

分解や改造は絶対に行なわないでください

本体内部には高精密部品が使われ、細かい調整がされていますので、お客様ご自身で本体を開けることは避けてください。

外部入力端子には指定のケーブルを接続してください

外部入力端子を通じて外部機器を接続する場合は、専用のケーブルが必要となりますので、購入された販売店またはディーラーにご相談ください。

オプションは必ず指定のものを使用してください

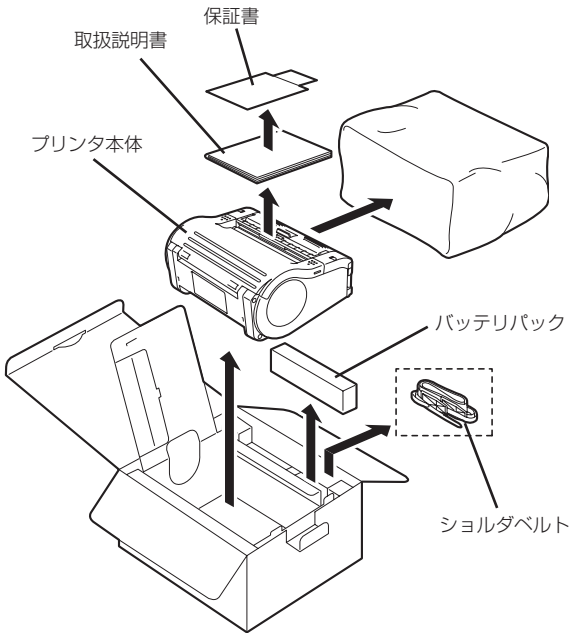
指定されたオプション以外のものを使用されますと、故障の原因となりますので、かならず指定のオプションを使用してください。

用紙は指定のものを使用してください

指定された用紙以外のものを使用されますと、ヘッド切れや印字不良が発生する原因となりますので、必ず指定の用紙を使用してください。

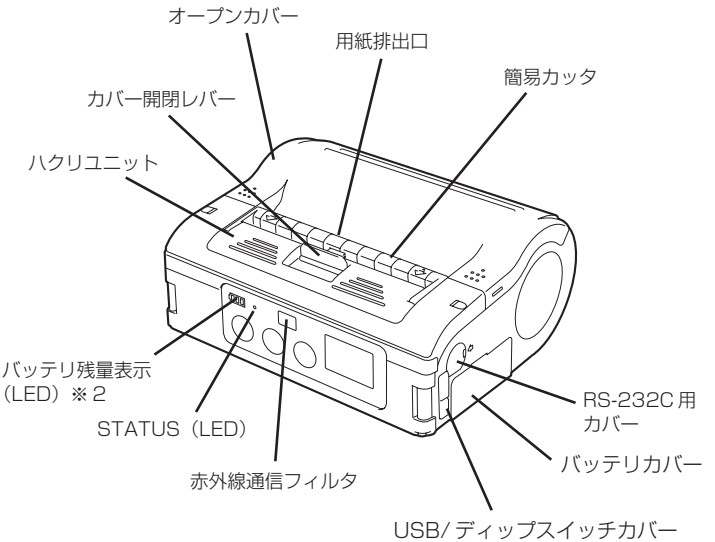
2. 箱から出しましょう

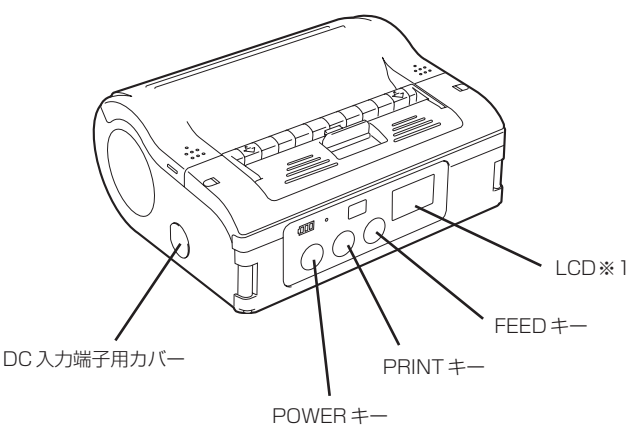
箱を開けたら、添付品がそろっているかどうか確認してください。製品に不足がありましたら、購入された販売店またはディーラーまでご連絡ください。

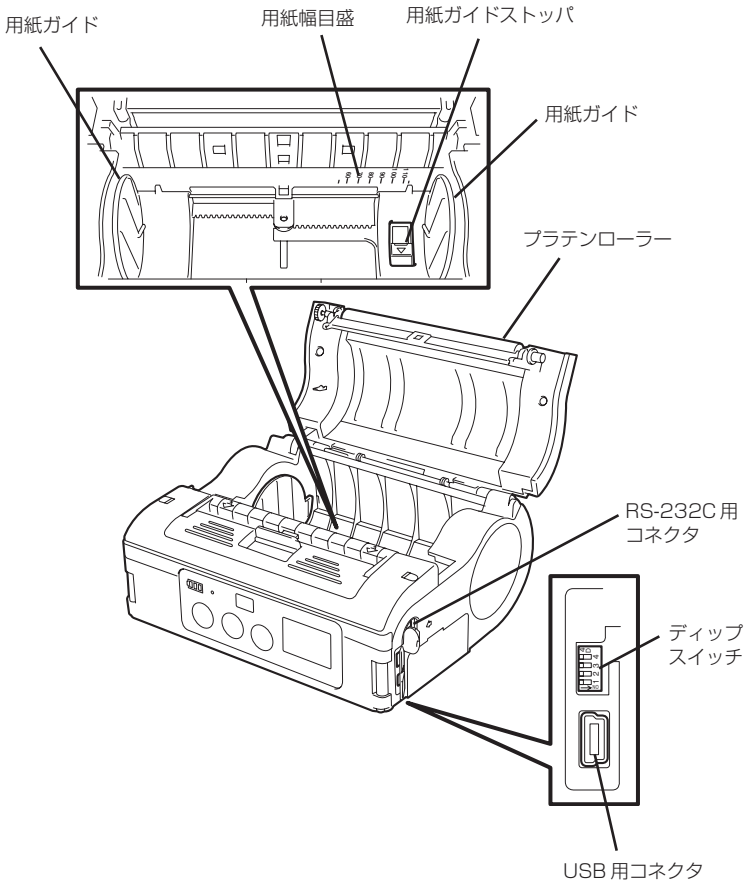


※ ロットによって、緩衝材(プリンタ押さえのプロテクタパット等)の形状が一部異なる場合があります。

3. 各部の名称


オープンカバー
用紙排出口
簡易カッタ
カバー開閉レバー
ハクリユニット
バッテリ残量表示
（LED）※2
STATUS（LED）
赤外線通信フィルタ
RS-232C 用
カバー
バッテリカバー
USB/ ディップスイッチカバー


LCD※1
FEED キー
PRINT キー
POWER キー
DC 入力端子用カバー



※1　無線 LAN インタフェース用操作パネル（メーカーオプション）にのみ装備されています。その他のオプションについては 39 ページの「オプション」をご覧ください。
※2　無線 LAN インタフェース用操作パネル（メーカーオプション）時は、CHARGE LED が装備されます。

RS-232C 用カバー：
RS-232C 用コネクタのカバーです。

RS-232C 用コネクタ：
パソコン等と接続します。

USB/ ディップスイッチカバー：
USB コネクタとディップスイッチ用のカバーです。

USB 用コネクタ：
パソコン等と接続します。

オープンカバー：
カバーを開けて用紙をセットします。

カバー開閉レバー：
オープンカバーを開けるときに操作します。

簡易カッタ：
印字した用紙を手動で切断します。

赤外線通信フィルタ：
中に赤外線受発光素子が入っています。

ディップスイッチ：
本プリンタの動作モードを設定します。（52 ページ参照）

ハクリユニット：
用紙をハクリ発行モードにするときに移動します。

POWER キー：
電源を ON/OFF します。

バッテリカバー：
中に専用バッテリパックが入ります。

バッテリ残量表示（LED）：
本プリンタのバッテリ残量を表示します。

用紙ガイド：
使用する用紙幅のサイズに合わせてセットします。

用紙ガイドストッパ：
奥側（△方向）に押すと用紙ガイドのロックが外れ、用紙ガイドを調整することができます。

用紙排出口：
印字された用紙が排出される口です。

用紙幅目盛：
使用する用紙幅に合わせる目盛です。

DC 入力端子：
AC アダプタを使用するときに接続します。

DC 入力端子カバー：
DC 入力端子用のカバーです。

FEED キー：
用紙送りをします。

PRINT キー：
オンライン／オフラインの切り替えを行います。

STATUS (LED)：
本プリンタの状態を表示します。（32 ～ 33、45 ～ 51 ページ参照）

4. 動かすまえに

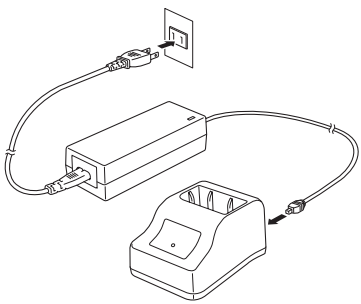
バッテリパックの充電

●バッテリチャージャー（オプション）にバッテリパックを取り付けて充電する場合

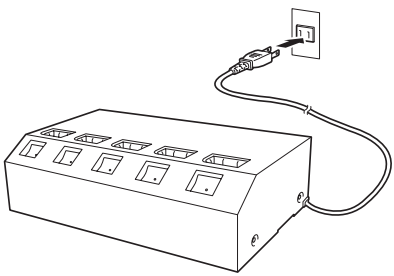
バッテリチャージャー（オプション）にバッテリパックを取り付けて充電します。

> ⚠ 本プリンタに付属のバッテリチャージャーセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

❶ 電源コードを充電器本体に差し、コンセントにつなぎます。



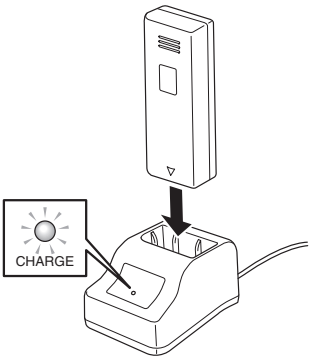
＜1chバッテリチャージャー＞



＜５連結バッテリチャージャー＞

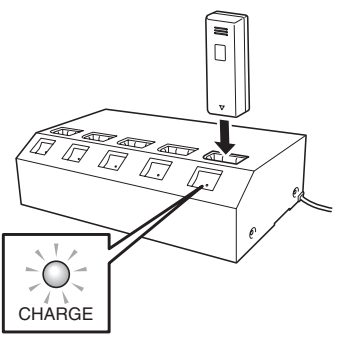
❷ バッテリパックの▽を下にして充電器の挿入口に差し込みます。

- 充電が始まると、CHARGEランプ（赤）が点灯します。充電が終了すると、CHARGEランプが緑点灯します（満充電）。



＜1chバッテリチャージャー＞

- 5連結バッテリチャージャーの場合、充電が始まると、CHARGEランプ（赤）が点灯します。充電が終了すると、CHARGEランプ（緑）が点灯します（満充電）。



＜5連結バッテリチャージャー＞

❸ 充電が終了したらバッテリパックを取り外します。

充電時間について

充電残量が空の状態から満充電するまでに1chバッテリチャージャー、5連結バッテリチャージャーの両方とも約2.5時間かかります。

お知らせ

- CHARGEランプが点灯していないときはバッテリパックがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。
- すでに充電を完了しているバッテリパックを取り付けたときは、CHARGEランプが一度、赤点灯してから緑点灯します。

●プリンタに専用ACアダプタ（オプション）を取り付けて充電する場合

プリンタにバッテリパックを装着したまま充電します。

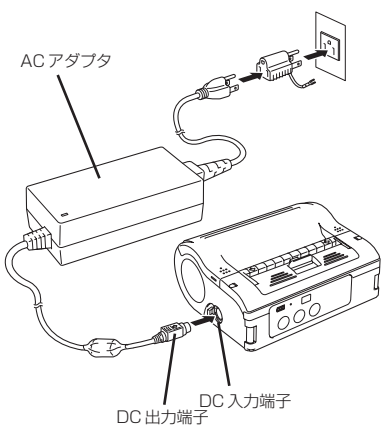
> ⚠ 本プリンタに付属のACアダプタセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

❶ DC入力端子用カバーを開き、差し込む方向を確認してDC出力端子を挿入します。

❷ ACアダプタをコンセントにつなぎます。

充電が始まると、バッテリ残量表示が赤く点灯します。充電が終了すると、バッテリ残量表示が消えます（満充電）。

※ 無線LANインタフェース用操作パネル（メーカーオプション）時は、充電が始まるとCHARGE LEDが赤く点灯します。充電が終了すると、CHARGE LEDが消えます（満充電）。

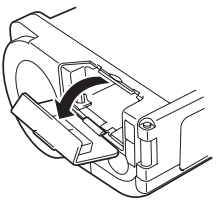


充電時間について

充電残量が空の状態からバッテリ残量表示が消えるまでに約5時間かかります。

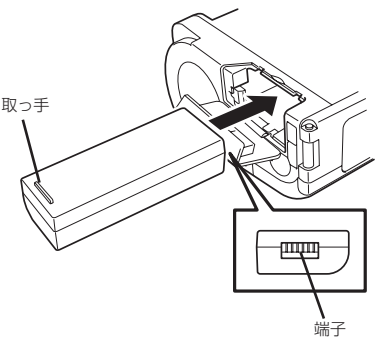
バッテリパックの装着と取り出しのしかた

❶ バッテリカバーを開けます。

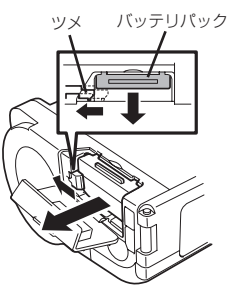


❷ グレーのツメを横にスライドさせながらバッテリパックを奥まで挿入し、バッテリカバーを閉じます。

バッテリパックは端子が見えている方から先に挿入してください。



❸ バッテリの取り出しは、グレーのツメを押してロックを外してから取っ手を持って引き出します。



※ バッテリパックの取り出しや、交換の際は、必ず電源をオフにしてください。

電源をオフにするとSTATUS LEDが消灯します。消灯するまでは、バッテリパックを取り出さないようにしてください。（25ページの「電源OFF」参照）

STATUS LEDが消灯しているのを必ず確認してからバッテリパックを取り出してください。

※ 上記の操作以外で、バッテリパックを取り出すとプリンタに記憶されている情報が更新されない場合がありますのでご注意ください。

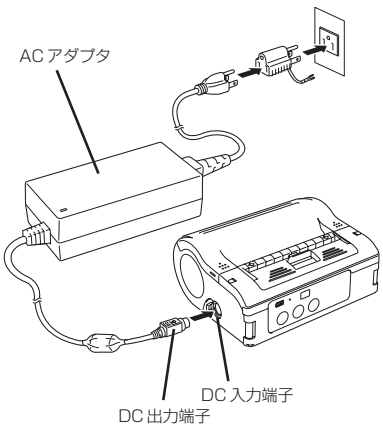
AC アダプタの使用

プリンタに専用 AC アダプタ（オプション）を取り付けて使用します。

本プリンタに付属のACアダプタセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

1. DC 入力端子用カバーを開き、差し込む方向を確認してDC出力端子を挿入します。

2. ACアダプタをコンセントにつなぎます。



※ AC アダプタの DC 出力端子を取り外す際や、電源供給を切る際は、必ずプリンタの電源をオフにしてください。

上記の操作以外で、電源を切ると、プリンタに記憶されている情報が正しく更新されない場合がありますのでご注意ください。

AC アダプタを使用する場合、バッテリパックは不要です。バッテリパックと AC アダプタを同時に使用している場合、満充電でないときは充電を始め、満充電になると通常表示になります（15 ページ参照）。

必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。

消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。

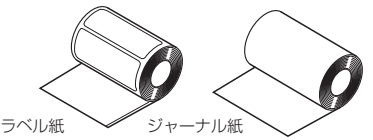
用紙のセット

用紙のセット方法は発行モードにより異なります。

連続発行モード

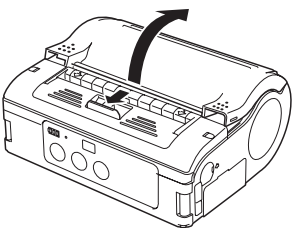
（44 ページの図参照）

出荷時の設定は連続発行モードになります。

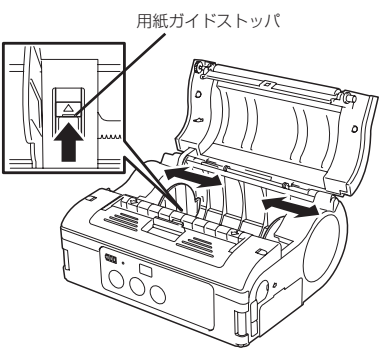


❶ カバー開閉レバーを矢印の方向にスライドさせ、オープンカバーを開けます。

ハクリユニットを連続発行モードの位置にスライドさせてから行ってください。（24ページ参照）

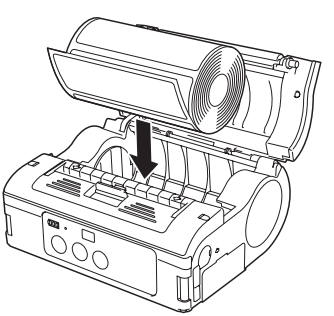


❷ 用紙ガイドストッパを押しながら、用紙ガイドを使用する用紙サイズの目盛りまでスライドさせます。



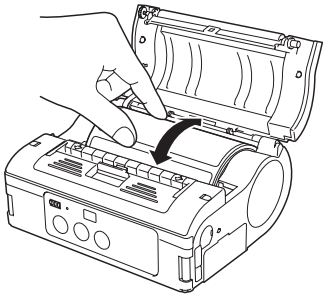
❸ 用紙をプリンタにセットします。

用紙ロールの向きに注意してください。



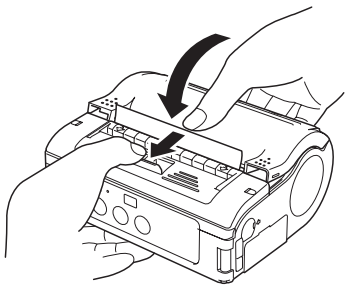
❹ 用紙ロールを手で回して軽く回転することを確認します。

用紙ガイドの幅が狭いと用紙ロールの回転が重くなり、用紙ガイドの幅が広いと用紙が左右に動いてしまい、搬送不良、印字ずれの原因となります。
このような場合は、いったん用紙ロールを取り出して用紙ガイドを調整してください。ただし、同じ幅の用紙を使用する場合には用紙ガイドの調整は不要です。



❺ 用紙の先端が外に出ていることを確認し、オープンカバーの真ん中を押して、オープンカバーを閉じます。

カバー開閉レバーを引きながらオープンカバーをゆっくり閉じてください。



❻ 電源がOFFの場合は、電源をONし、PRINTキーを押してオフライン状態にしてからFEEDキーを押し、用紙の頭出しを行います。

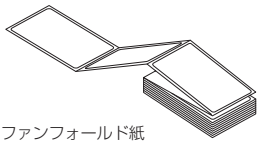
最後にPRINTキーを押してオンライン状態にしてください。

これで連続発行モード時の用紙セットは終わりです。

連続発行モード

（44ページの図参照）

出荷時の設定は連続発行モードになります。

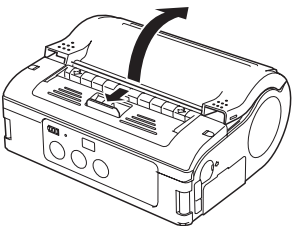


ファンフォールド紙

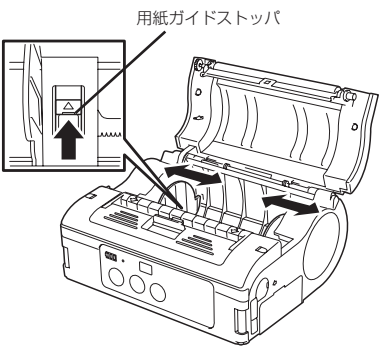
❶ カバー開閉レバーを矢印の方向にスライドさせ、オープンカバーを開けます。

ハクリユニットを連続発行モードの位置にスライドさせてから行ってください。（24ページ参照）

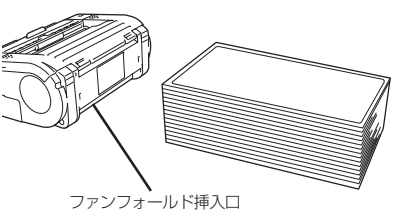
＊ オープンカバーが開いている状態では、ハクリユニットをスライドさせる操作は行わないでください。



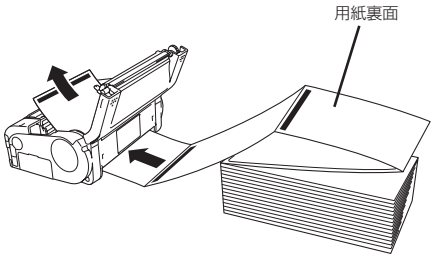
❷ 用紙ガイドストッパを押しながら、用紙ガイドを使用する用紙サイズの目盛りまでスライドさせます。



❸ ファンフォールド挿入口にまっすぐになるようにファンフォールド紙をセットします。

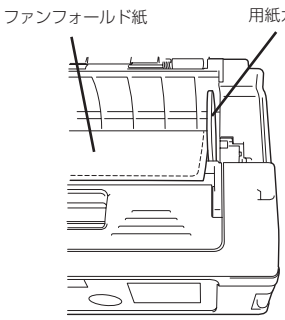


❹ ファンフォールド挿入口からファンフォールド紙を通します。

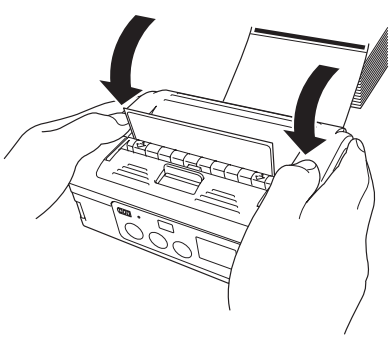


❺ ファンフォールド紙が用紙ガイドに軽く触れることを確認します。

用紙ガイドに触れなかったり、ファンフォールド紙が曲がるような場合、用紙のセットを再度、最初から行ってください。



❻ 用紙の先端が外に出ていることを確認し、オープンカバーの両端を押して、オープンカバーを閉じます。



❼ 電源がOFFの場合は、電源をONし、PRINTキーを押してオフライン状態にしてからFEEDキーを押し、用紙の頭出しを行います。

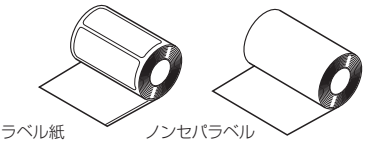
最後にPRINTキーを押してオンライン状態にしてください。

これで連続発行モード時のファンフォールド紙のセットは終わりです。

ハクリ発行モード

（44ページの図参照）

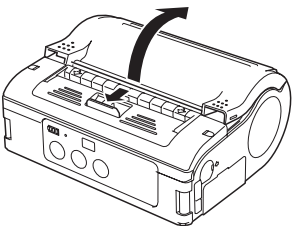
出荷時の設定は連続発行モードになります。



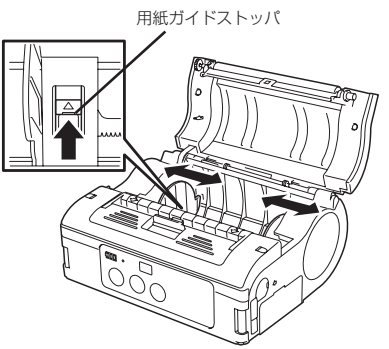
❶ カバー開閉レバーを矢印の方向にスライドさせ、オープンカバーを開けます。

ハクリユニットを連続発行モードの位置にスライドさせてから行ってください。（24ページ参照）

＊ オープンカバーが開いている状態では、ハクリユニットをスライドさせる操作は行わないでください。

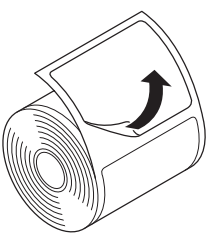


❷ 用紙ガイドストッパを押しながら、用紙ガイドを使用する用紙サイズの目盛りまでスライドさせます。



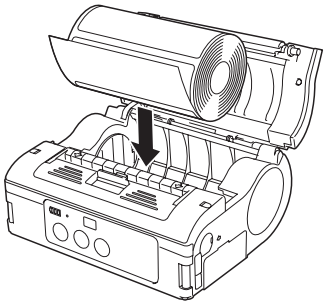
❸ 用紙先端のラベルをはがします。

ノンセパラベルの場合は不要となります。



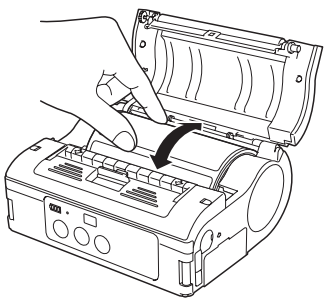
❹ 用紙をプリンタにセットします。

用紙ロールの向きに注意してください。



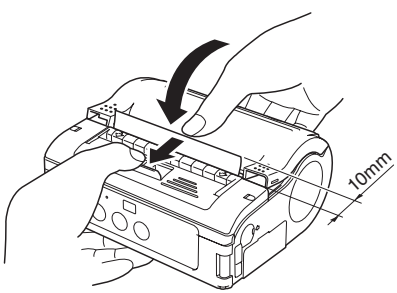
❺ 用紙ロールを手で回して軽く回転することを確認します。

用紙ガイドの幅が狭いと用紙ロールの回転が重くなり、用紙ガイドの幅が広いと用紙が左右に動いてしまい、搬送不良、印字ずれの原因となります。
このような場合は、いったん用紙ロールを取り出して用紙ガイドを調整してください。ただし、同じ幅の用紙を使用する場合には用紙ガイドの調整は不要です。



❻ 用紙の先端が外に出ている（10mm以上）ことを確認してオープンカバーの真ん中を押して、オープンカバーを閉じます。

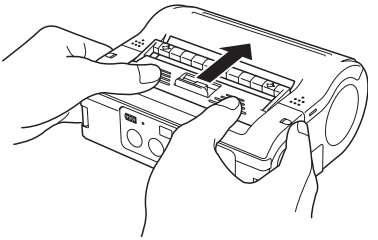
カバー開閉レバーを引きながらオープンカバーをゆっくり閉じてください。



ノンセパラベルの場合は、電源ONし、PRINT キーを押してオフライン状態にしてからFEEDキーを押し、1 枚紙送りします。そして上方向に引っ張りミシン目でカットします。

用紙排出口でラベルがつまった場合、用紙のセットを再度、最初から行ってください。

❼ ハクリユニットを止まるまでスライドさせます。



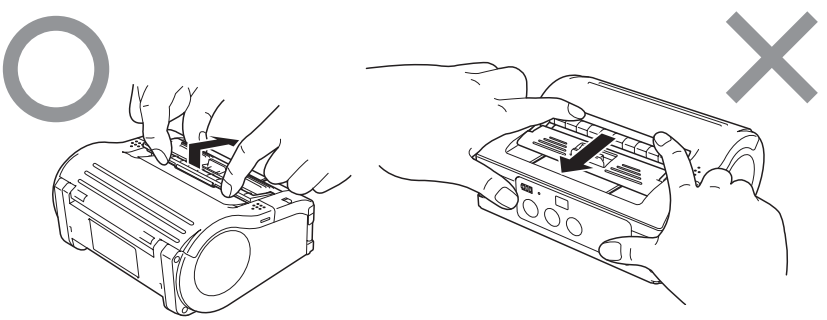
❽ 電源がOFFの場合は、電源をONし、PRINTキーを押してオフライン状態にしてからFEEDキーを押し、用紙の頭出しを行います。

最後にPRINTキーを押してオンライン状態にしてください。

これでハクリ発行モード時の用紙セットは終わりです。

●ハクリ発行モードから連続発行モードに切り替える場合

ハクリ/連続切り替えレバーを上に持ち上げながら、ハクリユニットを手前にスライドさせてください。決してレバーをおさえたまま手前に引かないでください。ハクリユニットが破損することがあります。



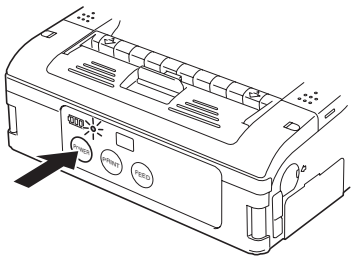
ハクリ発行モードをご使用の場合、用紙交換を行う際は、必ず上記の手順でハクリユニットをハクリ発行モードから連続発行モードに切り替えてから行ってください。

5. 電源を入れてみましょう

前ページまでの準備が終了したら、電源の ON、OFF を行ってみましょう。

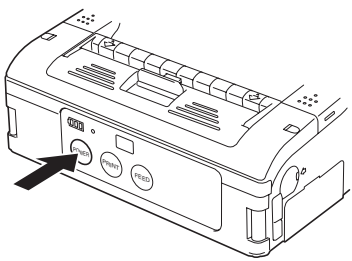
● **電源 ON**

❶ POWER キーを長押しし、STATUS LED が緑色に点灯してから POWER キーを放します。



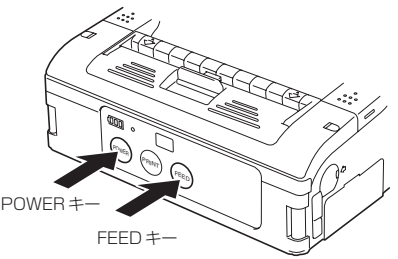
● **電源 OFF**

❷ POWER キーを再び長押しし、STATUS LED が消灯してから POWER キーを放します。



6. テスト印字してみましょう

1. FEED キーを押しながら POWER キーを長押しし、STATUS LED が橙色に点灯してから FEED キーと POWER キーを放すと、STATUS LED が緑色に点滅しテスト印字モードになります。

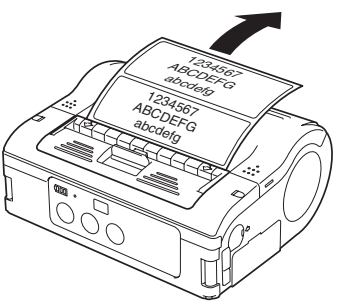


2. もう 1 度FEEDキーを押すと、テスト印字を行います。

   印字中に FEED キーを押すと印字停止します。

3. 発行されたテスト印字を見て以下の確認をしてください。
   - 印字された文字が抜けていないか？
   - 印字状態は良好か？

   テスト印字ではバッテリの残量の目安を「■■■」で表示しています。(満充電は■■■)
   バッテリ残量が■□□のときは充電してください。



4. POWER キーを再び長押しし、STATUS LED が消灯してから POWER キーを放し、電源を OFF してください。

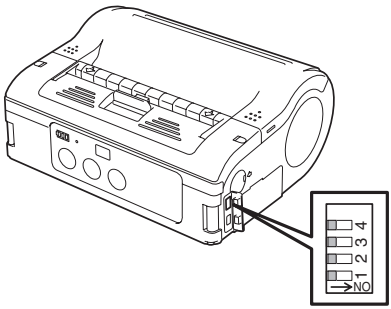
※ バッテリ使用時、バッテリ残量が少ないと印字がかすれ、電源が OFF する場合があります。

※ 不具合が発生した場合は、購入された販売店・ディーラー・弊社営業マン・サービスセンターのいずれかにご連絡ください。また、修理をご依頼される場合には「修理ご依頼時のお願い」(56 ページ) をご覧ください。

7. RS-232C で使用するとき

オプションのRS-232Cケーブルをパソコンまたはハンディターミナルとつないで印字する場合は以下のことを行ってください。

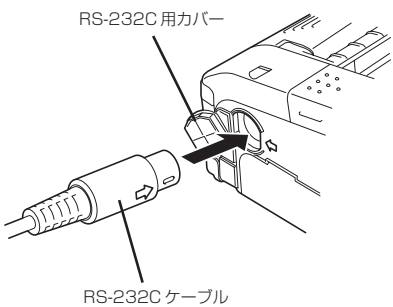
❶ USB/ ディップスイッチカバーを開き、ディップスイッチ（DSW）設定をDSW-1、2、3、4＝（OFF、OFF、OFF、OFF）に設定します。



❷ RS-232C 用カバーを開きます。

❸ RS-232Cケーブルをコネクタに差し込みます。
RS-232Cケーブルのコネクタ上の矢印とプリンタのコネクタ脇にある矢印の位置を合わせて深く、しっかり差し込んでください。

❹ RS-232Cケーブルのもう一方のコネクタをパソコンまたはハンディターミナルのコネクタに接続します。
パソコンまたはハンディターミナルのコネクタに関してはパソコンに添付のマニュアルを参照してください。

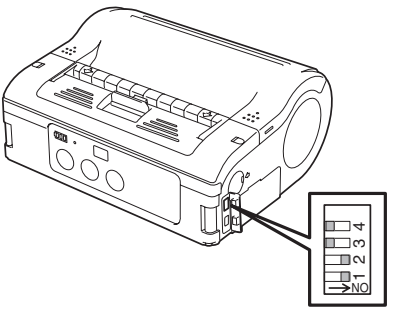


⚠ RS-232C ケーブルの抜き差しを行うときは、必ずプリンタの電源を切ってから行ってください。

8. USB で使用するとき

オプションのUSBケーブル（mini Bタイプ）をパソコンまたはハンディターミナルとつないで印字する場合は以下のことを行ってください。

❶ USB/ ディップスイッチカバーを開き、ディップスイッチ（DSW）設定をDSW-1、2、3、4＝（ON、ON、OFF、OFF）に設定します。

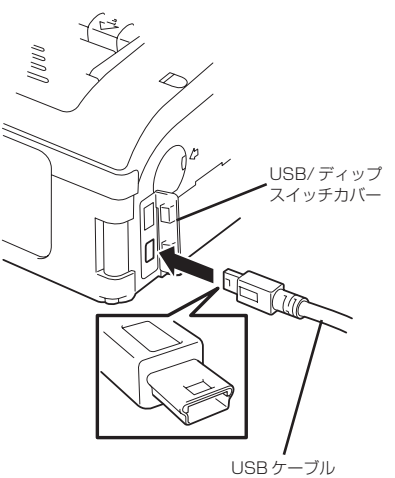


❷ USB ケーブルをコネクタに差し込みます。

USB ケーブルとプリンタのコネクタ口の形状を合わせて深く、しっかり差し込んでください。

❸ USB ケーブルのもう一方のコネクタをパソコンまたはハンディターミナルのコネクタに接続します。

パソコンまたはハンディターミナルのコネクタに関してはパソコンに添付のマニュアルを参照してください。



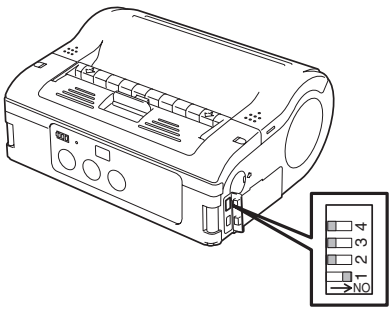
⚠ USBケーブルの抜き差しを行うときは、必ずプリンタの電源を切ってから行ってください。

9. 赤外線通信で使用するとき

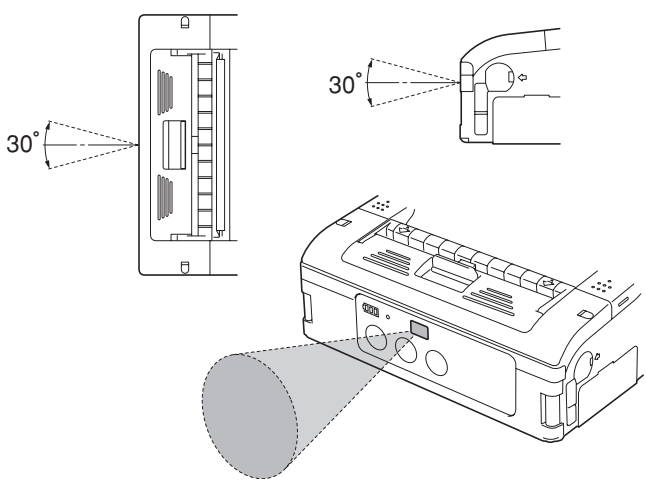
赤外線通信を使って印字する場合は以下のことを行ってください。

❶ USB/ ディップスイッチカバーを開き、ディップスイッチ（DSW）設定をDSW-1、2、3、4＝（ON、OFF、OFF、OFF）に設定します。

❷ 赤外線通信するパソコンまたはハンディターミナルの赤外線の発行部から20cm 以内の距離にプリンタを置きます。



❸ 赤外線通信フィルタの中心から上下左右 30°の範囲（円錐形）にパソコンまたはハンディターミナルが入るように、プリンタの位置を調整します。



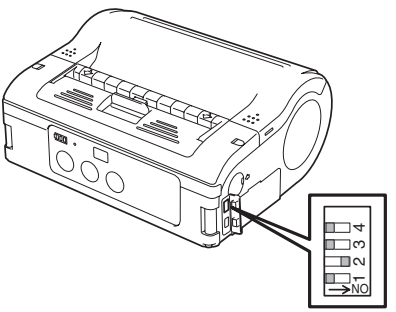
赤外線通信の通信距離は、最大で 15cm ～ 20cm です。

※ ただし、使用環境や通信相手により異なります。特に直射日光の下や強い照明が当たる環境では、通信ができない場合があります。その場合は赤外線通信フィルタに強い光が入らないよう遮るか、赤外線通信フィルタに接触させてご使用いただくことになります。

10. Bluetooth 仕様または無線 LAN 仕様で使用するとき

Bluetooth インタフェースまたは無線 LAN インタフェースを使って印字する場合は、以下のことを行ってください。

❶ USB/ ディップスイッチカバーを開き、ディップスイッチ（DSW）設定を DSW-1、2、3、4＝（OFF、ON、OFF、OFF）に設定します。



※ ただし使用環境やパソコンまたはハンディターミナルによって通信距離が異なります。ご注意ください。

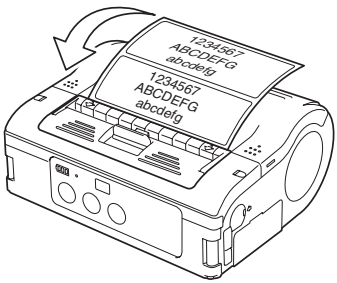
※ ノンセパモードで紙づまりが起きたときは、ハクリユニットを連続発行モードの位置にスライドさせてからオープンカバーを開け、ゆっくりと用紙を除去してください（24 ページ参照）。

無理に除去しようとすると部品が変形することがありますので、ご注意ください。

11. 発行してみましょう

❶ パソコンからデータを送信します。

❷ 印字が終わったら左右いずれかの用紙の端をつまみ、矢印の方向に引っ張り、カットします。



※ データの送信は、オンライン状態（STATUS LED 緑色点灯）もしくはスリープモード（STATUS LED 緑色点滅）であることを確認してください。

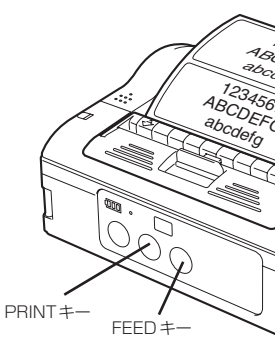
※ 1つのバッテリパックで発行できる用紙枚数は、連続・ハクリ発行モードで異なります。

※ ノンセパラベルがミシン目以外で切れてしまい、次の印字発行がされない場合は以下の操作を行ってください。

■ 次の用紙が印字がされない場合

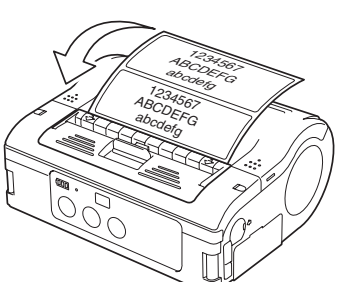
❶ オンラインの状態で PRINT キーを押し、オフライン状態（STATUS LED 消灯）にします。

❷ FEED キーを押し、用紙を送ります。



❸ 用紙が止まった時点で、矢印の方向に引っ張り、カットします。

❹ PRINT キーを押し、オンライン状態（STATUS LED緑色点灯）にします。



12. あれ？どうしたのかな

本プリンタの状態表示はSTATUS LEDの表示とブザーの鳴動にて行います。STATUS LEDの表示とブザーが以下のようになった場合は本プリンタの異常を示します。解除方法に

STATUS (LED)	モード	内　容	
点灯（赤）	全モード	ローバッテリ	a ⇒
点滅（赤）約4秒間隔 （約4秒点灯、約4秒消灯） ブザー：長音で1回鳴動	オンライン	モジュール異常 （Bluetooth、無線LAN）	b ⇒
点灯（赤）	電源投入後	①プログラム不正エラー ②FLASH ROMエラー	c ⇒
交互点灯（緑→赤）約4秒間隔 （緑 約4秒点灯後、赤 約4秒点灯） ブザー：長音で1回鳴動	オンライン	ヘッドエラー	d ⇒
点滅（赤）約1秒間隔 （約1秒点灯、約1秒消灯） ブザー：短音で3回鳴動	オンライン	カバーオープン	e ⇒
		ペーパーエンド	f ⇒
		センサエラー	g ⇒
点滅（緑）約1秒間隔 （約1秒点灯、約1秒消灯） ブザー：長音で1回鳴動	オンライン	通信エラー	h ⇒
点滅（緑）約0.5秒間隔 （約0.5秒点灯、約0.5秒消灯） ブザー：長音で1回鳴動	オンライン （印字・受信中）	バッファニアフル	i ⇒
点滅（赤）約4秒間隔 （約2秒点灯、約4秒消灯） ブザー：長音で1回鳴動	オンライン （印字、受信中）	バッファ オーバーフロー	j ⇒
点滅（緑）約4秒間隔 （約0.5秒点灯、約4秒消灯）	全モード	スリープモード	k ⇒
パターン点灯（赤→消灯→緑→消灯） 約1秒間隔（約1秒点灯、約1秒消灯）	全モード	ヘッド過熱保護機能	l ⇒
点灯（緑）	オンライン （ハクリ自動発行、 ハクリ時動作2）	ハクリ手動発行	m ⇒

従って、異常を解除してください。ローバッテリの表示がされますと、約30秒後に自動で電源がOFFになります。電源がOFFになっているのを確認してからバッテリパックを取り出し、充電を行ってください。

	原　因	解除方法
⇒ a	①バッテリの充電状態が不良です。	①バッテリを充電してください。
⇒ b	①インタフェースモジュールが異常です。（Bluetooth、無線LAN）	①基板の交換が必要です＊。
⇒ c	①FLASH ROM読み込み／書き込みエラーが発生しました。	①FLASH ROMの交換が必要です＊。 ②プログラムの再ダウンロードが必要です＊。
⇒ d	①ヘッドが断線しています。	①ヘッド交換が必要です＊。
⇒ e	①カバー部がロックされていません。 ②カバー開閉センサの異常です。	①カバー部をロックしてください。 ②センサの調整が必要です＊。
⇒ f	①用紙切れです。	①新しい用紙をセットしてください。
⇒ g	①センサのレベルが合っていません。 ②センサ種が合っていません。 ③用紙が蛇行しています。	①センサのレベル調整が必要です＊。 ②センサ種を合わせてください。 ③用紙を正しく入れ直してください。
⇒ h	①通信条件が合っていません。 ②ケーブルの接続異常です。	①通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。
⇒ i	①受信バッファの空きが残り少なくなっています。	①ホスト側データ送信を一時停止し、バッファが空くのを待ってから、再度データ送信をしてください。
⇒ j	①受信バッファを超えるデータを受信しています。 ②通信条件が合っていません。	①通信条件に合わせたデータ量を送信してください。 ②通信条件を合わせてください。
⇒ k	①エラーではありません。低消費電力モードが動作しています。	①キー押下、データ受信、オープンカバーの開閉で解除します。
⇒ l	①エラーではありません。ヘッド温度が70℃以上に上昇した場合にヘッド過熱保護機能として動作します。	①ヘッド温度が55℃まで下がると解除します。
⇒ m	①エラーではありません。 ②PRINTキーを押すと1枚発行します。	①指定枚数の発行が終了すると自動発行に戻ります。

＊：最寄りのサポートセンター・販売店にご相談ください。

■発行ができない場合（自動発行指定）

直射日光の下や強い照明が当たる環境（80,000Lux以上の光が当たる環境）では、内部センサの誤認識（ハクリユニットに用紙があると判断）により発行ができなくなる場合があります。その場合はハクリユニットに強い光が入らないように遮るか、下記のいずれかの方法で運用してください。

① **手動発行指定による運用**

ハクリ動作モード指定により、手動発行指定に変更して運用してください（47ページ参照）。

② **ハクリ時動作を動作２による運用**

プリンタ設定ツールにより、ハクリ時動作を動作２に変更して運用してください。
ハクリ時動作を動作2に設定時、強い光が入ることで印字が行われない場合には、以下の手順で発行してください。

PRINTキーを押すことで手動発行指定に切り替わり、1枚発行します。複数枚発行の場合は、指定枚数の発行が終了するまで手動発行で動作します。

手動発行指定で動作している間は、STATUS LEDが緑色と橙色で交互に点灯します（約0.5秒間隔）。

印字の症状	原　因	対 処 方 法
汚れ	①ヘッドが汚れています。 ②ローラーが汚れています。	①ヘッドを清掃してください（36ページ参照）。 ②プラテンローラーを清掃してください（37ページ参照）。
タテスジ	①ヘッドが汚れています。 ②ヘッドが不良です。	①ヘッドを清掃してください（36ページ参照）。 ②ヘッドの交換が必要です*。
文字が斜めに印字される	①用紙ガイドの位置が合っていません。 ②ローラーが汚れています。	①用紙をセットし直してください（18ページ参照）。 ②プラテンローラーを清掃してください（37ページ参照）。
白紙 （印字されない）	①RS-232C/USBケーブルの接続が不良です。 ②赤外線の通信が不良です。 ③Bluetooth/無線LANの通信が不良です。 ④ディップスイッチの設定が合っていません。 ⑤ヘッドが不良です。 ⑥ヘッドにラベルが貼り付いています。 ⑦用紙センサが汚れています。	①RS-232C/USBケーブルのコネクタ接続を確認してください（27、28ページ参照）。 ②パソコンとプリンタの間を15~20cm内にしてください。またプリンタの赤外線通信フィルタの中心から上下左右30°の範囲（円錐形）にパソコンがあるか確認してください（29ページ参照）。 ③各種設定を確認してください。 ④ディップスイッチの設定を確認してください（52ページ参照）。 ⑤ヘッドの交換が必要です*。 ⑥ヘッドを清掃してください（36ページ参照）。 ⑦用紙センサを清掃してください（37ページ参照）。

＊：最寄りのサポートセンター・販売店にご相談ください。

13. 毎日のお手入れ

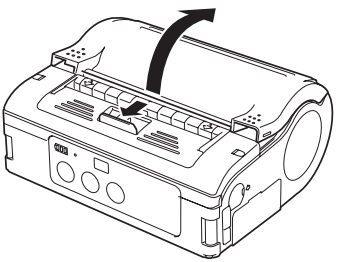
必ず電源を OFF にし、バッテリパックを抜いてから、次の操作を行ってください。

プリンタの清掃には、サトー純正のクリーニングキットを使用して行ってください。

■ サーマルヘッドのお手入れ

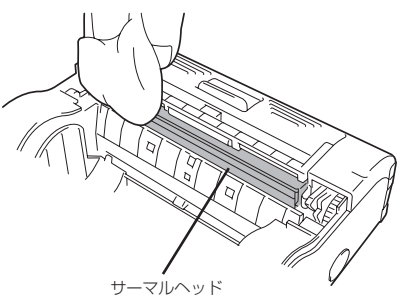
❶ カバー開閉レバーをスライドさせ、オープンカバーを開けます。

ハクリ発行モードの場合は、ハクリユニットを連続発行モードの位置にスライドさせてから行ってください。（24 ページ参照）



❷ アルコール（IPA）を塗布した（浸した程度）布で汚れを拭き取ります。

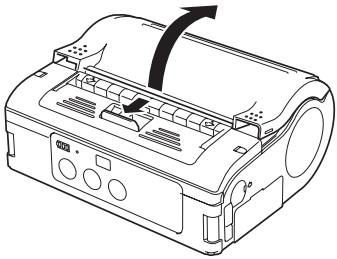
※ シンナー、ベンゼン系、灯油は使用しないでください。



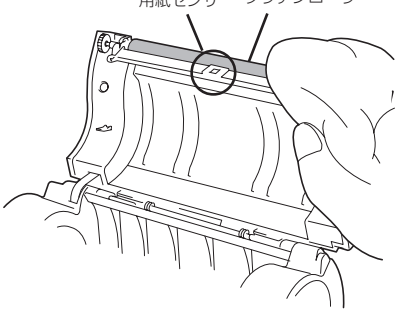
■プラテンローラー・ハクリローラー・用紙センサのお手入れ

❶ カバー開閉レバーをスライドさせ、オープンカバーを開けます。

ハクリ発行モードの場合は、ハクリユニットを連続発行モードの位置にスライドさせてから行ってください。（24 ページ参照）

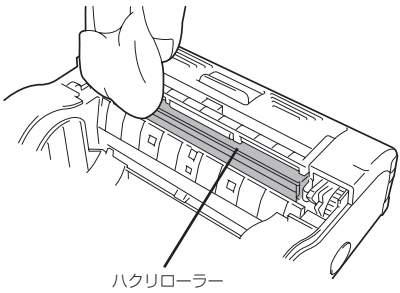


❷ プラテンローラーを乾いた布で汚れを拭き取ります。



❸ 用紙センサ、ハクリローラーをアルコール（IPA）を塗布した（浸した程度）布で汚れを拭き取ります。

※ シンナー、ベンゼン系、灯油、水は使用しないでください。

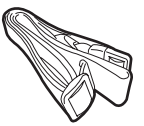


14. 参　考

標準添付品

●ショルダベルト

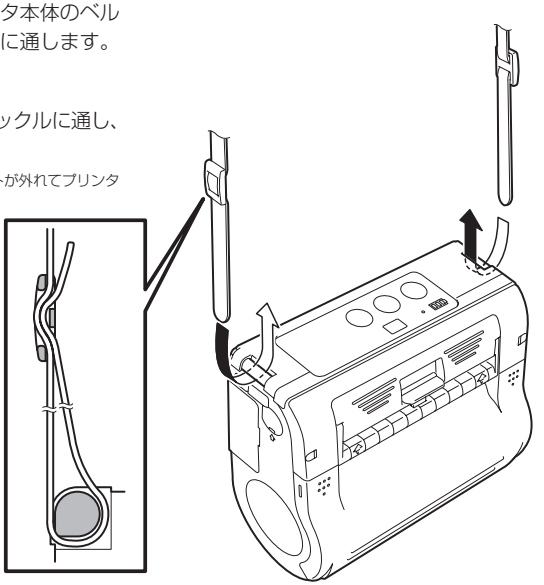
プリンタを肩からかけられるようにするベルトです。



❶ ショルダベルトをプリンタ本体のベルト通し穴の外側から内側に通します。

❷ ショルダベルトの端をバックルに通し、長さを調節します。

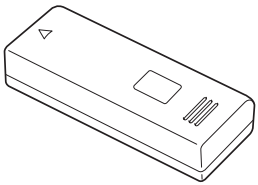
※ 正しくベルトを通さないとベルトが外れてプリンタが落下するおそれがあります。



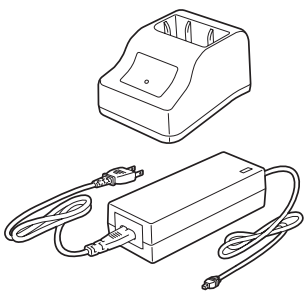
オプション

ユーザーオプション

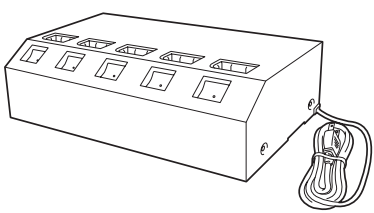
● **バッテリパック（本体には１個添付）**
予備バッテリを用意しておくことで、ローバッテリによる作業の中断をなくします。



● **1ch バッテリチャージャー**
バッテリパック（1 個）の充電を行います。

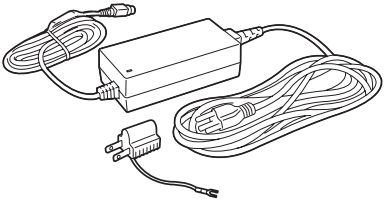


● **５連結バッテリチャージャー**
バッテリパック(最高5個)の充電を行います。



●プリンタ用 AC アダプタ

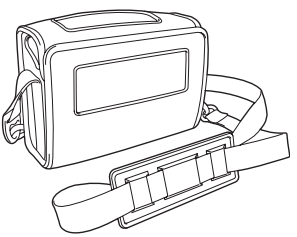
家庭用電源（AC100V）から電源を取るときに使用します。
AC アダプタの DC 出力端子をプリンタ本体に接続します。



・必ず指定のアダプタを使用してください。
・抜き差しは本体を持ってから行ってください。
・コードをいためないように注意してください。
・使用しない場合には抜いて保管してください。
・本プリンタに付属のACアダプタセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

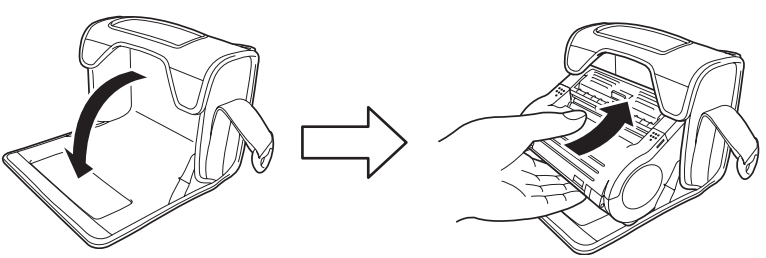
●ウエストケース

本体を腰のベルトに付けて持ち運びできるようにした保護ケースです。

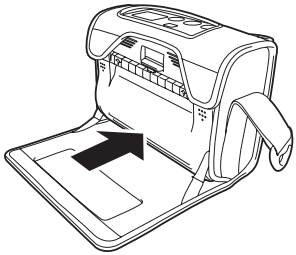


取り付け方

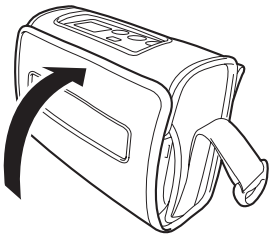
❶ ウエストケースのカバーを開け、プリンタの操作部をウエストケースの上側に入れます。



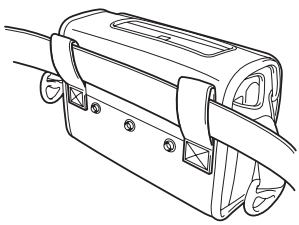
❷ プリンタの下側を入れ、プリンタ全体をウエストケースに入れます。



❸ ウエストケースのカバーを閉じます。

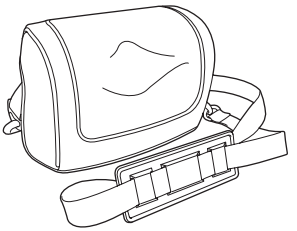


❹ ウエストケースにベルトを通します。



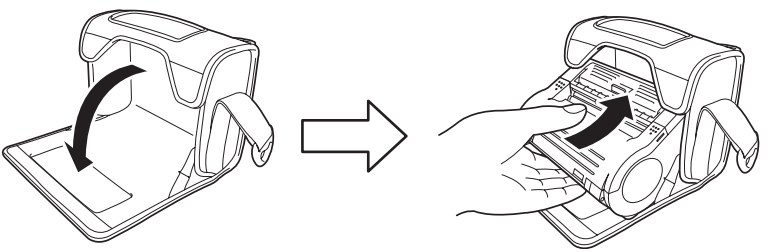
●防雨カバー付ショルダケース

ウエストケースに防雨カバーが付いたケースになります。

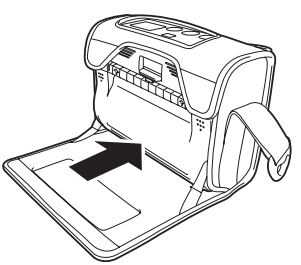


取り付け方

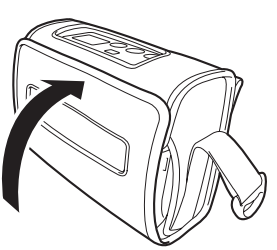
❶ ウエストケースのカバーを開け、プリンタの操作部をウエストケースの上側に入れます。



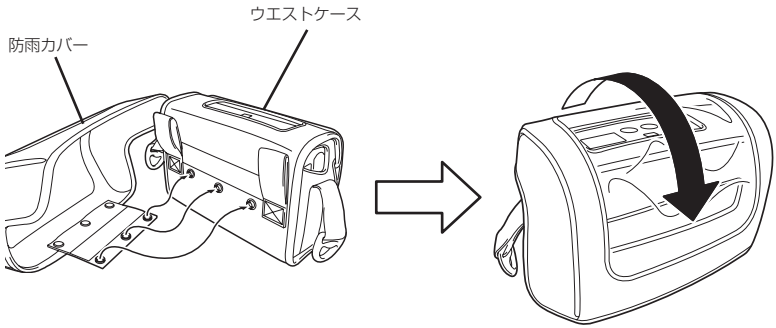
❷ プリンタの下側を入れ、プリンタ全体をウエストケースに入れます。



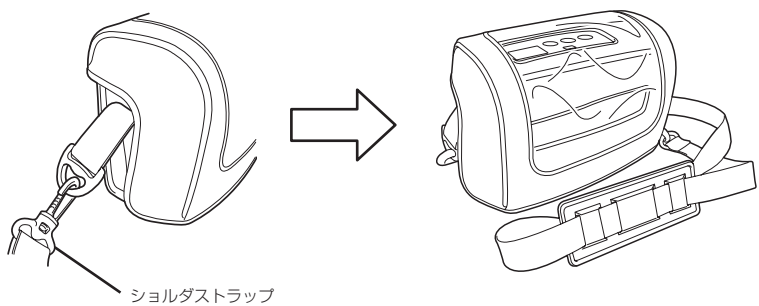
❸ ウエストケースのカバーを閉じます。



❹ 防雨カバーとウエストケースをボタンで留め、セットします。



❺ ウエストケースにショルダストラップを取り付けます。



●RS-232C ケーブル
パソコンやハンディターミナルと接続するときに使用します。

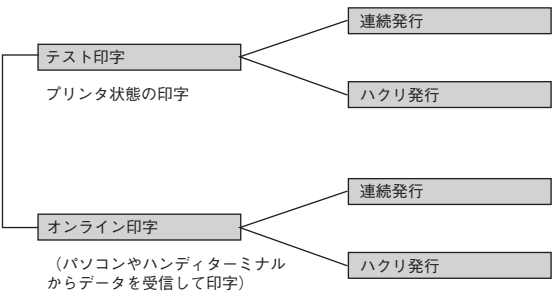
●USB ケーブル
パソコンやハンディターミナルと接続するときに使用します。

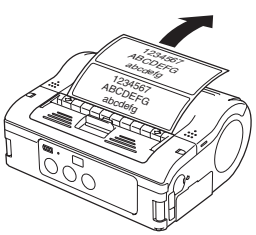
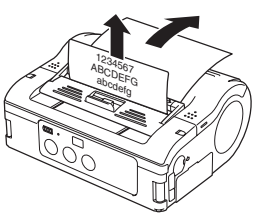
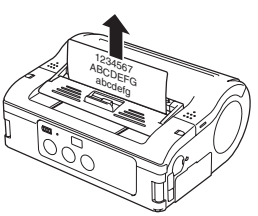
メーカーオプション

●無線 LAN インタフェース用操作パネル（LCD 付き）
無線の通信状態を表示する LCD 付きの操作パネルです。

動作モードについて

プリンタを動作させるモードには、連続発行モードとハクリ発行モードの２種類があります。また、どちらのモードを使用してもテスト印字とオンライン印字を行うことが可能です。

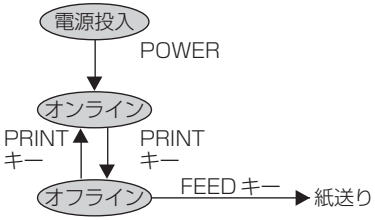


連続発行	ハクリ発行 （ラベル紙）	ハクリ発行 （ノンセパラベル）
		

※ ハクリ発行（ラベル紙、ノンセパラベル）ではハクリユニットをスライドさせます。

※ ハクリ発行モード（ノンセパラベル）の設定は、プリンタ設定ツールを使用して設定します。

通常動作モード



通常動作モード時の LED 表示は下記のようになります。

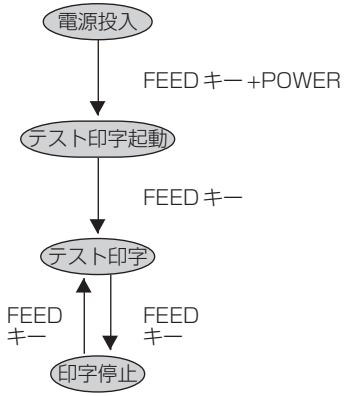
動作状態	STATUS (LED)
通常印字モード起動時	点灯（橙）
オンライン状態	点灯（緑）
オフライン状態	消灯

注記）　ブザー鳴動モード指定が有効の場合、起動時にブザーが鳴ります。
　　オフライン状態でもバッテリ残量表示は点灯しています。

パワーセーブモードについて

1. **スリープモード**：
　オンライン状態ではSTATUS（LED）は２秒間隔で点滅（緑）、オフライン状態ではSTATUS（LED）は消灯します。バッテリ残量表示（LED）はオフライン状態でも表示しています。
　５秒間操作しないとスリープモード（待機状態）になります。
　PRINTキー、またはFEEDキーを押すか、データ受信、オープンカバーの開閉により通常状態に戻ります。

テスト印字モード（FEED キー +POWER ON）



テスト印字モード時の LED 表示は下記のようになります。

動作状態	STATUS (LED)
テスト印字モード起動時	点灯（橙）
テスト印字起動状態	点滅（緑）
テスト印字中	点灯（緑）
印字停止	消灯

注記）　ブザー鳴動モード指定が有効の場合、起動時にブザーが鳴ります。
FEED キーを放すとブザーが止まります。

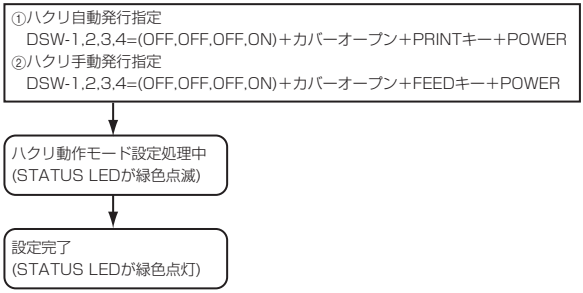
ハクリ動作モード

ハクリ動作モード指定

種　類	動作内容	デフォルト
自動発行指定	データ受信後に1枚印字を行い、ラベルハクリ待ち状態になります。ラベルをハクリ後自動で次のラベルを発行します。	手動発行指定
手動発行指定	データ受信後に1枚印字を行い、オフライン状態となります。PRINTキーを押すことにより次のラベルを発行します。指定枚数分発行後は印字を終了し、PRINTキーを押しても印字されません。	

ハクリ動作モード指定変更

ハクリ動作モード設定の変更は、電源投入時のディップスイッチ（DSW）設定およびキー指定で設定され、電源を切った後に設定内容が有効となります。



注記）　ブザー鳴動モード指定が有効の場合、起動時にブザーが鳴ります。
PRINT/FEED キーを放すとブザーが止まります。

ハクリ動作モード指定を終了する場合は、STATUS LEDが緑色点灯していることを確認してから電源を切ってください。ハクリ動作モード指定の変更後、必ずDSW 設定を元に戻してください。

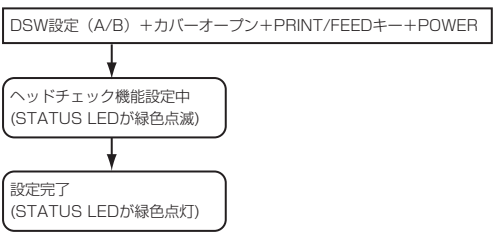
ヘッドチェック設定モード

ヘッドチェック設定モードでは、印字領域およびバーコード印字領域の２通りのチェック範囲で実施することができます。
電源投入時のディップスイッチ（DSW）設定、キー押下状態、カバー状態によりヘッドチェック機能の有無およびヘッドチェック範囲設定を行います。

ディップスイッチ設定

	DSW-1	DSW-2	DSW-3	DSW-4
（A）	OFF	ON	OFF	ON
（B）	ON	OFF	OFF	ON

DSW 設定	キー、カバー状態	機　能	デフォルト
（A）	PRINTキー＋カバーオープン	ヘッドチェック範囲を印字領域に設定	ヘッドチェック範囲を印字領域に設定
	FEED キー＋カバーオープン	ヘッドチェック機能を無効に設定	
（B）	PRINTキー＋カバーオープン	ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域のみに設定	
	FEED キー＋カバーオープン	ヘッドチェック機能を無効に設定	



注記）　ブザー鳴動モード指定が有効の場合、起動時にブザーが鳴ります。
PRINT/FEEDキーを放すとブザーが止まります。ヘッドチェック設定モードの設定内容の確認は、テスト印字の印字内容で確認してください（26 ページ参照）。

ヘッドチェック設定を終了する場合は、STATUS LEDが緑色点灯していることを確認してから電源を切ってください。ヘッドチェック設定モード指定の変更後、必ずDSW 設定を元に戻してください。

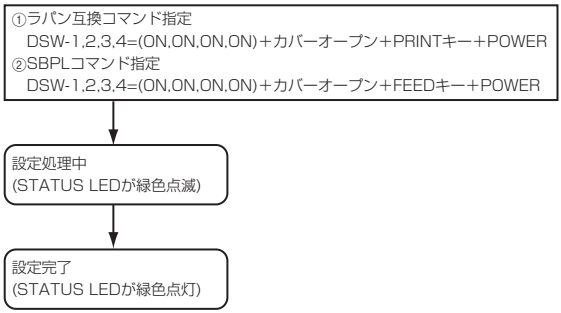
オンラインコマンド設定モード

オンラインコマンド指定内容

種　類	動作内容	デフォルト
ラパン互換コマンド指定	オンラインコマンドをラパン標準コマンドとして扱います。	SBPL コマンド指定
SBPL コマンド指定	オンラインコマンドをSBPLコマンドとして扱います。	

オンラインコマンド指定の変更

オンラインコマンド指定の変更は、電源投入時のディップスイッチ（DSW）設定およびキー指定で設定され、電源を切った後に設定内容が有効となります。



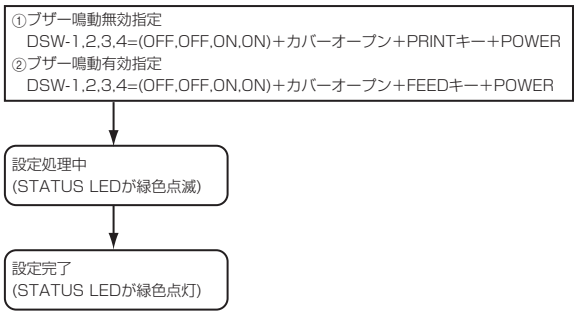
注記）　ブザー鳴動モード指定が有効の場合、起動時にブザーが鳴ります。
PRINT/FEEDキーを放すとブザーが止まります。オンラインコマンド設定モードの設定内容の確認は、テスト印字の印字内容で確認してください（26 ページ参照）。

オンラインコマンド指定を終了する場合は、STATUS LED が緑色点灯していることを確認してから電源を切ってください。オンラインコマンド設定モードの変更後、必ず DSW 設定を元に戻してください。

ブザー鳴動指定モード

プリンタ起動時およびエラー発生時にはブザーを鳴動させることができます。ブザー鳴動は初期値を有効として初期操作およびオンラインコマンドにより有効 / 無効を指定することができます。

ブザー鳴動指定の変更



注記） ブザー鳴動モード指定が有効の場合、起動時にブザーが鳴ります。
PRINT/FEEDキーを放すとブザーが止まります。ブザー鳴動指定モードの設定内容の確認は、テスト印字の印字内容で確認してください（26 ページ参照）。
ブザー鳴動指定を終了する場合は、STATUS LED が緑色点灯していることを確認してから電源を切ってください。ブザー鳴動指定モードの変更後、必ず DSW 設定を元に戻してください。

スタンダード / ノンスタンダードコード設定モード

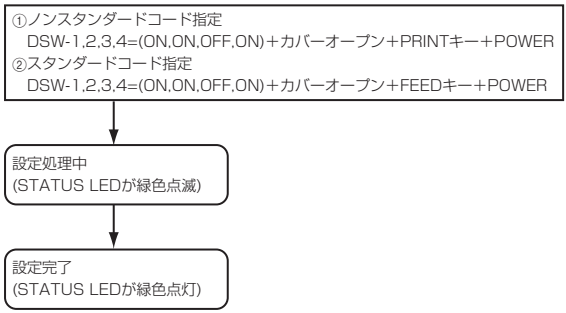
制御コードのスタンダードコード/ノンスタンダードコード指定は制御コード指定コマンドにより変更することが可能です。

スタンダード / ノンスタンダード指定内容

<table>
<tr><th>種　類</th><th>動作内容</th><th>デフォルト</th></tr>
<tr><td>スタンダードコード指定</td><td>下記の制御コードをスタンダードコードとして扱います。
<table>
<tr><th>制御コード</th><th>バイナリ</th></tr>
<tr><td>STX</td><td>02H</td></tr>
<tr><td>ETX</td><td>03H</td></tr>
<tr><td>ESC</td><td>1BH</td></tr>
<tr><td>ENQ</td><td>05H</td></tr>
<tr><td>CAN</td><td>18H</td></tr>
<tr><td>NULL</td><td>00H</td></tr>
</table></td><td rowspan="2">スタンダードコード指定</td></tr>
<tr><td>ノンスタンダードコード指定</td><td>下記の制御コードをノンスタンダードコードとして扱います。
<table>
<tr><th>制御コード</th><th>バイナリ</th></tr>
<tr><td>STX</td><td>7BH({)</td></tr>
<tr><td>ETX</td><td>7DH(})</td></tr>
<tr><td>ESC</td><td>5EH(^)</td></tr>
<tr><td>ENQ</td><td>40H(@)</td></tr>
<tr><td>CAN</td><td>21H(!)</td></tr>
<tr><td>NULL</td><td>7EH(~)</td></tr>
</table>
* ノンスタンダードコードはユーザーダウンロード指定コマンドにより変更することが可能です。</td></tr>
</table>

スタンダード / ノンスタンダードコード指定の変更

スタンダードコード / ノンスタンダードコード指定の変更は、電源投入時のディップスイッチ（DSW）設定およびキー指定で設定され、電源を切った後に設定内容が有効となります。



注記） ブザー鳴動モード指定が有効の場合、起動時にブザーが鳴ります。PRINT/FEEDキーを放すとブザーが止まります。スタンダードコード/ノンスタンダードコード設定モードの設定内容の確認は、テスト印字の印字内容で確認してください（26 ページ参照）。

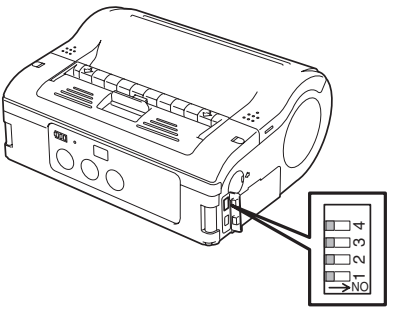
スタンダードコード/ノンスタンダードコード指定を終了する場合は、STATUS LEDが緑色点灯していることを確認してから電源を切ってください。スタンダードコード/ノンスタンダードコード設定モードの変更後、必ず DSW 設定を元に戻してください。

プリンタの各種設定や通信設定は、「プリンタ設定ツール」にて設定をお願いします。「プリンタ設定ツール」を使用する場合には、プリンタとの接続に専用の RS-232C ケーブルが必要となります。

ディップスイッチ

● **ディップスイッチを設定する**

1. 電源を OFF にします。
2. USB/ ディップスイッチカバーを開けます。
3. 精密ドライバの先など、とがった物でスイッチの位置を変更します。



● ディップスイッチの設定項目

ディップスイッチ				カバー	キー		起動モード	
1	2	3	4		PRINT	FEED	インタフェース	内　容
OFF	OFF	OFF	OFF	閉	OFF	OFF	RS-232C	通常印字モード
				閉	OFF	ON	—	ユーザーテスト印字モード
OFF	OFF	ON	ON	閉	OFF	OFF	RS-232C	HEXダンプモード
				開	ON	OFF	—	ブザー鳴動無効指定
				開	OFF	ON	—	ブザー鳴動有効指定
OFF	OFF	OFF	ON	開	ON	OFF	—	ハクリ自動発行指定
				開	OFF	ON	—	ハクリ手動発行指定
OFF	ON	OFF	OFF	閉	OFF	OFF	Bluetooth インタフェース 無線LANインタフェース	通常印字モード
				閉	OFF	ON	—	ユーザーテスト印字モード
OFF	ON	OFF	ON	開	ON	OFF	—	ヘッドチェック(印字領域)指定
				開	OFF	ON	—	ヘッドチェック無効指定
OFF	ON	ON	ON	閉	OFF	OFF	Bluetooth インタフェース 無線LANインタフェース	HEXダンプモード
				開	ON	OFF	—	CRCチェック有効指定
				開	OFF	ON	—	CRCチェック無効指定
ON	OFF	OFF	OFF	閉	OFF	OFF	赤外線 インタフェース	通常起動モード
				閉	OFF	ON	—	テスト印字モード
ON	OFF	ON	ON	閉	OFF	OFF	赤外線 インタフェース	HEXダンプモード
ON	OFF	OFF	ON	開	ON	OFF	—	ヘッドチェック (バーコード印字領域)指定
				開	OFF	ON	—	ヘッドチェック無効指定
ON	ON	OFF	OFF	閉	OFF	OFF	USBインタフェース	通常動作
				閉	OFF	ON	—	テスト印字モード
ON	ON	ON	ON	閉	OFF	OFF	USBインタフェース	HEXダンプモード
				開	ON	OFF	—	オンラインコマンド指定 (ラパン互換)
				開	OFF	ON	—	オンラインコマンド指定 (SBPLコマンド)
ON	ON	OFF	ON	開	ON	OFF	—	ノンスタンダードコード指定
				開	OFF	ON	—	スタンダードコード指定

基本仕様

モデル名	ラバンPT408e	ラバンPT412e
印字方式	感熱方式	
ヘッド密度（解像度）	8dot／mm（203dpi）	12dot／mm（305dpi）
印字有効エリア	最大長さ297mm×幅104mm	
印字速度	最大103mm／秒（ハクリ発行時、印字速度は75mm／秒） ※ただし、印字レイアウト、用紙の種類によっては制限する場合があります。	
印字禁止領域	長さ方向　上：1.5mm以下、下：1.5mm以下（台紙含まず） 幅方向　　左：1.5mm以下、右：1.5mm以下（台紙含まず）	
用紙種類/用紙形態	サトー純正用紙のご使用をお願いします。/ロール紙、ファンフォールド紙	
用紙厚	64～190μm（0.064～0.190mm）	
用紙サイズ	標準　　長さ：25 ～ 297mm（28～300mm） 　　幅：　50～111mm（53～114mm） ハクリ　　長さ：25 ～ 182mm（28～185mm） 　　幅：　50～111mm（53～114mm） ノンセパ　長さ：28 ～ 182mm 　　幅：　53～107mm ※（　）は台紙サイズ 注）発行枚数や用紙、使用条件によってサイズを制限する場合があります。	
用紙外径/支管サイズ	ロール紙 用紙外径：最大58mm 支管内径：0.75インチ、1インチ 巻き方向：表巻き	
発行モード	連続、ジャーナル、ハクリ	
寸法/重量	幅170mm×奥行き67mm×高 さ125mm/720g （標準仕様、バッテリパック含む）	
電源仕様	リチウムイオン電池 公称電圧　14.8V 公称容量　1700mAh 充放電サイクル　約300回 充電時間　本体充電　　約5時間 　　専用充電器　約2.5時間 性能　満充電でサーマルラベル50m相当）連続発行可能 　　（印字率16%時）※使用環境により異なります。	
環境条件（温度/湿度）	動作周囲温度：－15～50℃（無線LAN仕様の場合0～50℃） 　　湿度：20～80%RH（ただし結露無きこと） 保存周囲温度：－25～60℃ 　　湿度：20～80%RH（ただし結露無きこと） ※サプライ製品は除く	
インタフェース	①RS-232C：Mini DIN（専用） ②USB：mini Bタイプ ③赤外線通信：IrDA規格Ver1.2規格準拠（通信距離：最大15～20cm） ④Bluetooth：Ver2.0 Class2 ⑤無線LAN：IEEE802.11b/g（TCP/IP、LPR、SOCKET）	

モデル名	ラパンPT408e	ラパンPT412e
オプション	バッテリパック、ACアダプタ（AC100V）、1chバッテリチャージャー、5連結バッテリチャージャー、防雨ケース、ウェストケース、RS-232Cケーブル、USBケーブル	
操作キー	POWER、PRINT、FEED	
用紙長検出センサ	①アイマークセンサ（反射タイプ）、②ギャップセンサ（透過タイプ）	
バーコード	UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、GS1-128（UCC/EAN128）、CODABAR（NW-7）、ITF、カスタマバーコード、 GS1 DataBar Omnidirectional、 GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Stacked、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Limited、 GS1 DataBar Expanded、 GS1 DataBar Expanded Stacked ※GS1 DataBarはRSSのことです。	
2次元コード	QRコード、マイクロQR、PDF417、マイクロPDF、MAXIコード、GS1データマトリックス（ECC200）	
合成シンボル	EAN-13 Composite、EAN-8 Composite、 UPC-A Composite、UPC-E Composite、 GS1 DataBar Composite、 GS1 DataBar Truncated Composite、 GS1 DataBar Stacked Composite、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite、 GS1 DataBar Limited Composite、 GS1 DataBar Expanded Composite、 GS1 DataBar Expanded Stacked Composite、 GS1-128 Composite ※GS1 DataBarはRSSのことです。 ※GS1-128は、UCC/EAN128のことです。	

モデル名		ラパンPT408e	ラパンPT412e
標準搭載フォント	ビットマップフォント	X20　5×9dot　（英数字、記号、カナ） X21　17×17dot　（英数字、記号、カナ） X22　24×24dot　（英数字、記号、カナ） X23　48×48dot　（英数字、記号、カナ） X24　48×48dot　（英数字、記号、カナ） POP　80×133dot（数字、「¥」、「.」） 漢字16×6dot（JIS第1、2水準、角ゴシック体） 漢字22×2dot（JIS第1、2水準、角ゴシック体） 漢字24×24dot（JIS第1、2水準、角ゴシック体） ※日本語（JIS X208準拠）	
		OCR-A　15×22dot（英数字、記号） OCR-B　20×24dot（英数字、記号）	OCR-A　22×33dot（英数字、記号） OCR-B　30×36dot（英数字、記号）
	マークダウンフォント	①64×80dot（数字、「¥」） ②52×80dot（数字、「¥」） ③40×80dot（数字、「¥」） ④104×92dot（数字、「¥」） ⑤52×80dot（数字、「¥」） ⑥40×80dot（数字、「¥」） ⑦104×92dot（数字、「¥」） ⑧88×92dot（数字、「¥」） ⑨72×92dot（数字、「¥」） ⑩56×92dot（数字、「¥」） ⑪104×92dot（数字、「¥」） ⑫88×92dot（数字、「¥」） ⑬72×92dot（数字、「¥」） ⑭56×92dot（数字、「¥」） ※詳細はプログラミングガイドをご参照ください。	
	ラスタライズフォント	CG Times（英数字、記号） CG Triumvirate（英数字、記号）	
印字方向		文字　：0°、90°、180°、270° バーコード：パラレル1（0°）、パラレル2（180°）、 シリアル1（90°）、シリアル2（270°）	
バーコード比率		1：2、1：3、2：5、任意指定可能	
拡大倍率（文字・バーコード）		文字：縦1～6倍、横1～6倍 バーコード：1～12倍	
自己診断機能		①ヘッド切れチェック　②バッテリチェック　③カバーオープン検出 ④ペーパーエンド検出　⑤テスト印字	
ノイズ（EMC）規格		VCCI Class B	
無線規格	無線LAN（2.45GHz）	電波法2.45GHz帯高度化小電力データ通信システムの認証	

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- 他の製品名は各社の商標または登録商標です。

修理ご依頼時のお願い

- 印字または動作上の不具合によって修理をご依頼される場合には、必ず不良印字のサンプルおよび、動作上の問題を記載の上、本プリンタに添付してお送りいただきますようお願いいたします。また使用されていますラベル、バッテリ、AC アダプタ等もお送りいただけますようお願いします。
- 修理完了後、お客様にフォーマットの登録作業をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。

サービスの種類

	交換部品	技術料
保守期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償

保証規定につきましては、保証書にてご確認ください。
標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より５年間とさせていただきます。（機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ http://www.sato.co.jp でご確認ください。）

保守サービスの内容

持ち込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合は用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修復にあたります。運送費はお客様負担となります。

出向保守はございません。

保守サービスの説明

保証期間の保守サービス

製品は１台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入より６か月間を保証期間として無償修理を行っております。
サーマルヘッド、プラテンローラー等の消耗部品につきましては、弊社純正サプライ品での走行距離 30km または納入より６か月間の早い方が無償修理対応となります。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続きが不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合は、機械に登録された各種データ・ソフト（フォーマット・データ等）は、機械修復作業時にデータ・ソフト等の復旧ができない場合がありますので予めご了承ください。

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様で予め別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

保守契約サービス

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

フルメンテナンスサービス

1．目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理故障は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および修理に使用した交換部品は、保守契約により充当されます。したがって、お客様にとりましては一年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

2．保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは 1 年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4 年間まで継続して契約することができます。 4 年をこえる保守契約サービスについては、基準別にしたがい個々にお見積りいたします。

スポットサービス

保守契約を申し受けてない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。
故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理完了までに日数がかかることがございますが、ご了承ください。
スポットサービスを実施した場合、サービス料金に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

この機器の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、最寄りのサービスセンター・販売店にご連絡頂き、混信回避のための処理等（例えばパーティションの設置など）についてご相談してください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生したなど何かお困りのことが起きたときは、最寄りのサービスセンター・販売店へお問い合わせください。

Bluetooth 仕様

2.4 FH 1		
	使用周波数帯域	2.4GHz
	変調方式	FH − SS 方式
	想定干渉距離	10m 以下
	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

無線 LAN 仕様

2.4DS/OF4		
	使用周波数帯域	2.4GHz
	変調方式	DSSS および OFDM
	想定干渉距離	40m 以下
	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

SATO

DCS & Labeling Worldwide

Q01753001